

スマイル・サポーターズが活動再開 ボラ登録が新システムに変更



実際のエキジビジョンマッチで車いすカーリングのボランティアを体験した研修会

2020年以降、コロナ禍で休止状態だったさっぽろグローバルスポーツコミッションのスポーツボランティア「スマイル・サポーターズ」が2022年度からボランティアの案内やスキルアップ研修などの活動を再開しました。

札幌市豊平区のどうぎんカーリングスタジアムで8月、「車いすカーリング・スマサポ研修会」が開かれました。参加した10人は冬季パラリンピックの競技種目となっている車いすカーリングのルールや、ボランティア時の注意事項などを学び、開催中の北海道カーリングツアー第1戦「どうぎんカーリングクラシック2022」で行われたエキジビジョンマッチで、実際に車いすカーリングのサポートを体験して、パラ競技への理解を深めました。

2017年の冬季アジア札幌大会のボランティアを母体に誕生したスマイル・サポーターズは、現在、ボランティアの登録者が約1,200人です。コロナ前には事務局に派遣依頼があったスポーツボランティアの案件を登録者に案内し派遣するほか、各種の研修会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症が広がった2020年から

は、WEBの会誌「with smile」の発行も1年以上休止するなど、2年間、活動がほぼ停止状態でした。

ようやくスポーツ競技大会が再開した本年度は、車いすカーリング研修のほか、北海道マラソンや札幌マラソンなど10件近いスポーツイベントのボランティア募集の派遣事業が戻ってきました。来年度は引き続きボランティア派遣を拡大していくほか、ボランティアリーダーの育成研修なども検討していく予定です。

ボランティアのWEB登録システムもこの秋にグレードアップ。これまではボランティア登録者が、募集中のボランティアに応募するときにはその都度、名前や住所を入力していましたが、新登録システムでは登録者のマイページが登場しました。

ログインすると「募集中案件」がページ画面に表示されその中から応募したいボランティア活動をクリック、応募ボタンを押すと完了。これまでより操作が簡単になりました。スマイル・サポーターズの新規登録、マイページログインは右のQRコードから。



さっぽろグローバルスポーツコミッション

北海道への国際大会や事前合宿、スポーツイベントの誘致を目指し、2016年3月に北海道、札幌市、札幌商工会議所、札幌市体育協会(当時)、札幌観光協会などにより設立。国際大会・スポーツイベントの誘致、スポーツツーリズムの推進、スポーツボランティアのスマイル・サポーターズを3本柱に活動している。

JSVNが日本財団ボランティアセンターに事業譲渡

全国のスポーツボランティア団体のネットワークづくりと情報共有を推進してきたNPO法人日本スポーツボランティアネットワーク(JSVN、東京)が、2023年4月から、その事業を公益財団法人日本財団ボランティアセンター(ボラセン、東京)に統合し解散します。

スポーツボランティアのスキルアップを目指すリーダー研修や上級リーダー研修の開催情報は4月以降、ボラセンのネットサイト「ぼ活」<https://vokatsu.jp/>で発信され、研修制度もライセンス更新を廃止するなど、一部変更になります。これらの情報を受け取るには、ぼ活サイトへの登録が必要になります。JSVNが運営してきたサイト「スポボラ.net」は当面継続し、ボランティア募集情報などを発信します。

統合・譲渡の理由についてJSVNは、災害や介護、差別など社会のさまざまな課題にボランティアが向きあう時代に、スポーツに限らず、さまざまなジャンルのボランティアに参加できる枠組みの中でネットワークづくり、情報発信を進めていくため、としています。

寄付のお願い

認定NPO法人ランナーズサポート北海道では、北海道のランニング文化の健全な発展やスポーツボランティアの拡充のために、企業・団体・個人からの寄付を募っています。2013年7月に認定NPO法人となったことで、税制上の優遇措置が受けられるようになりました。寄付をしていただいた個人は所得税と住民税、法人は法人税が減額され、納めた税金の一部が戻って来ます。いずれも当NPO法人の発行する領収書を所轄の税務署に提出して申告する必要があります。クレジットカードによる寄付もできます。

詳しくはランナーズサポート北海道ホームページ

<https://runsupport-h.org/>の「寄付のお願い」の項目をご覧ください。

★編集後記★

北海道マラソンには5万円以上の寄付で出走権が得られる「チャリティーエントリー」の制度があります。運営はランナーズサポート北海道が担当し、2022大会では132人のランナーからの寄付額が計621万円と過去最多になりました。この善意のお金は「スポーツ・文化・地域おこし」「障がい・福祉」「自然・環境」の分野で活動している道内の38団体・1事業に助成されました。助成先の活動内容はhttps://runsupport-h.org/hm_charity_logに掲載しています。マラソンを走って社会貢献をする、この仕組みが、もっと広がればと願っています。(K)

北のスポボラを支援していただいた団体・企業

一般財団法人 札幌市スポーツ協会 さっぽろグローバルスポーツコミッション
 NPO法人 日本市民スポーツ海外交流協会 北海道マラソン組織委員会 北海道ロードレース事務局
 創文企画「ランニングの世界」 西宮の沢バッティングパーク ピッチャーガエシ